

## 第22回医療的ケア研修セミナー

日本小児神経学会は、社会活動委員会の担当で「医療的ケア講師研修セミナー」を2004年から毎年開催し、その内容をもとに「医療的ケア研修テキスト」を発行してきました。本会は、2009年度より「医療的ケア研修セミナー」と改称され、より多くの方を対象としたセミナーとなっております。第22回はWeb開催といたします。

期 日 2024年11月24日(日) 9:00~17:10

会 場 Web開催 当日ライブ配信(当日配信場所:心身障害児総合医療療育センター 療育研修所)

オンデマンド配信:2024年12月24日~2025年1月31日

テーマ 増加・多様化・高度化する学校等での医療的ケアの実践的なポイントとアップデート、リスク管理

—気管切開・人工呼吸器療法を中心に、全国的な取組の前進のために—

<主旨>気管切開の児者の著増、在宅人工呼吸器療法の児者の増加とその保護者付添なしでの学校等への受入れ、排痰補助装置やハイフロー療法の導入など、在宅・学校・デイサービス・保育園などでの医療的ケアは、増加・高度化・多様化している。この中で、おもに呼吸障害へのケアにつき、基本的知識を踏まえながらの実践的なポイントについての医師、看護師、教職員、関係スタッフ(行政も含む)の、認識の共有とアップデートを目的とする。とくに、リスク管理を重視した内容とする。気管カニューレ事故除去に備えて学校への保護者待機が義務付けられている地域がまだあるなど地域差がある中で、対応の全国的なレベルアップにも資するようにする。

対 象 医療的ケア児者・重症神経疾患児・重症心身障害児者等の、医療・療育・教育・通園通所・訪問看護などに携わる、医師・歯科医師・看護師・保健師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・教員・保育士・福祉職など

目 的 家庭・学校・通園通所施設などにおいて、在宅地域生活支援のために「医療的ケア」が拡がりを持ちながら適切に行われるよう、専門職が知っておくべき方法・技術、リスクおよび制度論などの諸問題について研修し、支援者が知識を共有できることを目的とする。

参加費 医師7,000円、医師以外の医療従事者・支援者等3,000円、学生2,000円

主 催 一般社団法人日本小児神経学会

共 催 日本重症心身障害学会、一般社団法人日本小児看護学会

後 援 東京都教育委員会、日本小児神経学会関東地方会

申込受付 2024年9月2日~2025年1月10日

専門医研修単位

日本小児神経学会専門医研修単位 5単位

日本医師会生涯教育制度;自己申告となっておりますので適宜ご自身でご申告をお願いします。

## プログラム

- 9：00～ 人工呼吸器療法の基本、気管切開下人工呼吸器療法  
竹本 潔（大阪発達総合療育センター）
- 11：00～ NPPV（非侵襲的陽圧換気療法）  
石川悠加（国立病院機構北海道医療センター 神経筋/成育センター）
- 11：50～ 学校での人工呼吸器管理のポイント 千葉県立特別支援学校でのインシデント報告を中心に  
石井光子（千葉県千葉リハビリテーションセンター第一小児科）
- 13：10～ 在宅でのハイフローセラピー、排痰補助装置—そのイメージと学校などでの使用のポイント  
戸谷 剛（医療法人財団はるたか会 あおぞら診療所うえの）
- 14：10～ 単純気管切開術と誤嚥防止手術のポイント  
堀口利之（横浜市立大学耳鼻咽喉科）
- 14：50～ 気管切開関係のケアの実際的事項とリスク管理 カニューレ事故抜去への対応・応急的再挿入方法、  
状態悪化時の対応(バギング)、東京都学校看護師実技研修会の内容の紹介など  
北住映二（心身障害児総合医療療育センター）
- 16：10～ 東京都立学校における安全で確実な医療的ケアの前進に向けての取り組み  
深谷純一（東京都教育庁指導部（就学相談担当）・都立学校教育部（特別支援教育推進担当））
- 16：40～ 全国の学校における医療的ケアへの取り組みと課題  
菅野和彦（文部科学省初等中等教育局・特別支援教育課）

（講師敬称略）

第22回「医療的ケア」研修セミナー会長 高橋 長久（心身障害児総合医療療育センター療育研修所）  
一般社団法人日本小児神経学会社会活動委員会 担当理事 藤井 克則  
同 委員長 宮本 雄策